

平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月27日

上場取引所 大

上場会社名 山喜株式会社

コード番号 3598 URL <http://www.e-yamaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 恵史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長 (氏名) 小林 淳

TEL 06-6764-2211

定時株主総会開催予定日 平成24年6月28日 配当支払開始予定日 平成24年6月29日

有価証券報告書提出予定日 平成24年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	16,206	9.2	112	△35.0	77	△6.3	31	△51.0
23年3月期	14,846	△0.5	172	99.4	82	525.7	63	40.2

(注)包括利益 24年3月期 184百万円 (208.8%) 23年3月期 59百万円 (△18.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	3.88	—	0.6	0.6	0.7
23年3月期	7.92	—	1.2	0.6	1.2

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 ー百万円 23年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	13,940	5,541	39.7	689.35
23年3月期	13,462	5,381	39.9	667.88

(参考) 自己資本 24年3月期 5,538百万円 23年3月期 5,366百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	1	△113	234	610
23年3月期	△73	△153	119	491

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	16	25.3	0.3
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	16	51.6	0.3
25年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00		64.3	

(注)平成24年3月期の配当原資には、資本剰余金が含まれています。詳細は、3ページ「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご欄ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,100	3.2	210	△1.6	180	38.5	130	39.9	16.18
通期	17,000	4.9	100	△11.1	90	16.3	50	60.5	6.22

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

24年3月期	8,046,233 株	23年3月期	8,046,233 株
24年3月期	11,782 株	23年3月期	11,707 株
24年3月期	8,034,488 株	23年3月期	8,034,557 株

(参考)個別業績の概要

平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	12,494	13.9	△39	—	52	△67.9	△30	—
23年3月期	10,967	0.2	224	67.3	163	85.1	△76	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	△3.82	—
23年3月期	△9.57	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
24年3月期	13,650		6,122		44.9		762.04	
23年3月期	13,088		6,014		46.0		748.64	

(参考) 自己資本 24年3月期 6,122百万円 23年3月期 6,014百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

平成24年3月期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	2円00銭	2円00銭
配当金総額	16百万円	16百万円

(注) 純資産減少割合 0.003

添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 中長期的な会社の経営戦略	4
(3) 会社の対処すべき課題	4
3. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16
4. その他	16
(1) 役員の変動	16
(2) その他	16

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当期のわが国経済は、東日本大震災の影響からの持ち直しの動きが見られたものの、海外経済の減速や円高の影響等により依然として厳しい状況が続きました。

日本国内の衣料品を巡る経営環境は、第1第2四半期においては節電の強化によるクールビズの取り組みにより、夏物衣料は好調に推移いたしましたが、第3第4四半期においては夏物展開期間の延長や期末における天候不順の影響により、秋物・春物衣料については総じて不振に終わりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、夏物を中心とする国内衣料卸売販売の強化、国内におけるインターネット販売や直営形態事業の強化、海外販売の拡大など、業績拡大への取り組みを一層強化するとともに、国内物流費の削減や海外不採算工場の収益改善策など経営効率化の施策を鋭意実施いたしました。当社グループ直営店は当第4四半期においても、京都府久御山町、山口県下関市に出店するなど3月末現在合計16店舗に拡大しております。

この結果、当社グループの当連結会計年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）における売上高は162億6百万円と前年同期と比べ9.2%増加しましたが、直営店出店経費の増加、年度後半の在庫増などによる経費の増加等により、営業利益1億12百万円（前年同期比35%減）、経常利益77百万円（同6.3%減）、当期純利益31百万円（同51%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

国内販売

国内販売セグメントは上述の要因により、売上高151億74百万円（前連結会計年度比11.8%増）、セグメント利益90百万円（同56.7%減）となりました。

製造

不採算のタイ工場の縮小、ラオス工場の生産効率の改善などにより、セグメント売上高29億99百万円（同8.5%減）、セグメント利益56百万円（前連結会計年度は22百万円の損失）となりました。

海外販売

シンガポール販売会社の販売減少等により、セグメント売上高3億34百万円（前連結会計年度比14.2%減）、セグメント損失32百万円（前連結会計年度は32百万円の損失）となりました。

次期の見通しにつきましては、2011年12月策定した中期経営計画「山喜飛翔プラン2014」に掲げる主要施策、すなわち、夏物を中心とする国内卸売り販売の拡大、直営店やネット販売などの直販事業の拡大、中国、アセアン地区等における海外販売の強化などの実施により、売上高の拡大を見込みますが、一方、海外における人件費の上昇、国内たな卸資産評価の厳格化、ライセンスブランド（パラクータ）終了による評価損などを見込んでおります。

平成25年3月期の連結売上高は170億円、経常利益90百万円、当期利益50百万円を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は139億40百万円と、前連結会計年度末に比べ4億78百万円増加しておりますが、これは国内販売拡大に伴う売掛金の増加、たな卸資産の増加等によるものです。期中における重要な資産の変動はありません。

負債合計は83億98百万円と前連結会計年度末に比べ3億18百万円増加しておりますが、これは所要運転資金の増加による借入金の増加等によるものです。

純資産は、55億41百万円と前連結会計年度末に比べ1億60百万円増加しておりますが、これは法人税率変更に伴う土地再評価差額金の増加、期末にかけてのドル高による繰延ヘッジ損益の改善等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

連結会計年度における現金および現金同等物（以下「資金」という）は、売上債権の増加、たな卸資産の増加等による減少要因があったものの、未収入金の減少、借入金の純増などの増加要因により、前連結会計年度末に比べ1億19百万円増加し、6億10百万円となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は1百万円（前連結会計年度は73百万円の支出）となりました。これは主に国内販売拡大に伴う売掛金の増加、たな卸資産の増加、未収入金の減少、減価償却費等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億13百万円（前連結会計年度は1億53百万円）となりました。これは主に直営店舗拡大に伴う有形固定資産の取得等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は2億34百万円（前連結会計年度は1億19百万円）となりました。これは借入金の増加によるものです。

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
自己資本比率（％）	37.7	38.6	38.9	39.9	39.7
時価ベースの自己資本比率（％）	8.2	4.7	8.5	7.7	9.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	-	9.2	10.7	-	3,006.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	-	5.5	5.3	-	0.02

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー / 利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としていません。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針、(2) 目標とする経営指標

平成22年3月期決算短信(平成22年4月30日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

http://www.e-yamaki.co.jp/yamaki/top3_kabusiki.html

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

(2) 中長期的なグループ経営戦略

当社では、平成23年12月、中期経営計画「山喜飛翔プラン2014」を策定いたしました。

これは平成25年3月期を初年度とする3ヵ年の経営方針および経営目標を謳うもので、以下の基本戦略を掲げております。

変化への対応

国内卸販売シェアの拡大

国内販売の直販強化

中国・アジア地区を中心とする海外販売の強化

"Style Works"をはじめとする自社ブランドの育成

商品力の強化

リストラクチャリングの実施

原点の再確認

品質第一の堅持

誠実な対応の維持強化

(3) 会社の対応すべき課題

近年の急激な原材料価格の上昇、アジア生産拠点における人件費の上昇により、製品製造原価が上昇傾向にあります。この対策として、低コスト生産拠点の生産能力を増強するとともに、適切な売価管理によって、販売利益の確保を図ります。

上述の原価の上昇要因にもかかわらず、日本国内においては、製品販売価格の上昇が図りづらい状況にあります。この対策として、付加価値の高いデザイン商品等のラインナップを強化するとともに、海外における販売体制を強化拡大してまいります。

小売店の競争環境の変化に伴い、中堅量販店を中心に、衣料品からの撤退が今後も進む可能性があります。

この対応策として、POLO, SHIRT HOUSEなど直接販売形態販売を行うオリジナル商材の品揃えを強化するとともに、直営店を含む直接販売形態での販売箇所を増やして参ります。

4. 連結財務諸表
(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155,640	1,310,669
受取手形及び売掛金	2,229,639	2,573,048
製品	4,331,712	4,703,338
仕掛品	74,853	77,642
原材料	361,687	349,140
その他	772,550	493,863
貸倒引当金	570	350
流動資産合計	8,925,514	9,507,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,568,798	1,464,356
機械装置及び運搬具(純額)	161,589	144,126
土地	2,148,247	2,137,064
建設仮勘定	1,634	525
その他(純額)	122,653	123,402
有形固定資産合計	4,002,923	3,869,475
無形固定資産		
借地権	359,078	357,629
その他	17,482	15,677
無形固定資産合計	376,561	373,306
投資その他の資産		
投資有価証券	78,160	81,939
その他	79,341	109,183
貸倒引当金	435	652
投資その他の資産合計	157,065	190,469
固定資産合計	4,536,550	4,433,252
資産合計	13,462,064	13,940,604
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,500,617	2,447,487
短期借入金	1,618,965	1,767,045
1年内返済予定の長期借入金	932,307	1,091,524
未払法人税等	39,962	39,522
賞与引当金	32,700	30,900
返品調整引当金	125,000	126,000
繰延税金負債	-	12,266
その他	418,071	513,804
流動負債合計	5,667,623	6,028,550
固定負債		
長期借入金	1,951,522	1,900,978
繰延税金負債	777	5,411
再評価に係る繰延税金負債	367,967	323,013
退職給付引当金	59,122	107,907
その他	33,175	32,844
固定負債合計	2,412,563	2,370,156
負債合計	8,080,187	8,398,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,940,997	2,940,997
資本剰余金	2,807,517	2,770,952
利益剰余金	668,723	617,073
自己株式	1,793	1,806
株主資本合計	5,077,998	5,093,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,137	9,270
繰延ヘッジ損益	82,110	19,940
土地再評価差額金	368,457	413,410
為替換算調整勘定	636	2,861
その他の包括利益累計額合計	288,120	445,482
少数株主持分	15,758	3,344
純資産合計	5,381,877	5,541,897
負債純資産合計	13,462,064	13,940,604

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	14,846,789	16,206,852
売上原価	10,683,862	11,848,508
返品調整引当金戻入額	35,000	-
返品調整引当金繰入額	-	1,000
売上総利益	4,197,927	4,357,343
販売費及び一般管理費	4,024,938	4,244,868
営業利益	172,989	112,475
営業外収益		
受取利息	3,639	4,291
仕入割引	11,593	11,276
受取手数料	58,771	69,379
その他	18,086	24,031
営業外収益合計	92,090	108,979
営業外費用		
支払利息	76,206	82,520
為替差損	84,346	36,716
その他	21,971	24,846
営業外費用合計	182,524	144,083
経常利益	82,554	77,371
特別利益		
固定資産売却益	4,532	7,854
投資有価証券売却益	-	80
特別利益合計	4,532	7,934
特別損失		
固定資産除売却損	119	649
投資有価証券売却損	226	1,560
投資有価証券評価損	34	564
ゴルフ会員権評価損	1,150	475
出資金評価損	100	-
減損損失	-	1,278
のれん償却額	-	10,791
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	551	-
災害による損失	8,345	1,225
特別損失合計	10,527	16,545
税金等調整前当期純利益	76,560	68,759
法人税、住民税及び事業税	33,400	41,852
法人税等調整額	4,091	-
法人税等合計	29,308	41,852
少数株主損益調整前当期純利益	47,252	26,907
少数株主損失()	16,383	4,246
当期純利益	63,636	31,153

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	47,252	26,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,800	8,132
繰延ヘッジ損益	25,970	102,050
土地再評価差額金	-	44,953
為替換算調整勘定	8,653	2,536
その他の包括利益合計	12,517	157,673
包括利益	59,769	184,580
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	77,030	188,515
少数株主に係る包括利益	17,260	3,934

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	2,940,997	2,940,997
当期変動額		
当期変動額合計	-	
当期末残高	2,940,997	2,940,997
資本剰余金		
当期首残高	2,807,517	2,807,517
当期変動額		
資本剰余金から利益剰余金への振替	-	20,495
剰余金(その他資本剰余金)の配当	-	16,069
当期変動額合計	-	36,564
当期末残高	2,807,517	2,770,952
利益剰余金		
当期首残高	716,289	668,723
当期変動額		
剰余金の配当	16,069	-
資本剰余金から利益剰余金への振替	-	20,495
当期純利益	63,636	31,153
当期変動額合計	47,566	51,649
当期末残高	668,723	617,073
自己株式		
当期首残高	1,782	1,793
当期変動額		
自己株式の取得	11	12
当期変動額合計	11	12
当期末残高	1,793	1,806
株主資本合計		
当期首残高	5,030,443	5,077,998
当期変動額		
剰余金(その他資本剰余金)の配当	-	16,069
剰余金の配当	16,069	-
自己株式の取得	11	12
当期純利益	63,636	31,153
当期変動額合計	47,555	15,072
当期末残高	5,077,998	5,093,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	5,937	1,137
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,800	8,132
当期変動額合計	4,800	8,132
当期末残高	1,137	9,270
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	108,080	82,110
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,970	102,050
当期変動額合計	25,970	102,050
当期末残高	82,110	19,940
土地再評価差額金		
当期首残高	368,457	368,457
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	44,953
当期変動額合計	-	44,953
当期末残高	368,457	413,410
為替換算調整勘定		
当期首残高	8,412	636
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,775	2,224
当期変動額合計	7,775	2,224
当期末残高	636	2,861
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	274,726	288,120
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,394	157,361
当期変動額合計	13,394	157,361
当期末残高	288,120	445,482
少数株主持分		
当期首残高	33,018	15,758
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	17,260	12,413
当期変動額合計	17,260	12,413
当期末残高	15,758	3,344
純資産合計		
当期首残高	5,338,188	5,381,877
当期変動額		
剰余金の配当	16,069	-
剰余金(その他資本剰余金)の配当	-	16,069
自己株式の取得	11	12
当期純利益	63,636	31,153
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,866	144,948
当期変動額合計	43,688	160,020
当期末残高	5,381,877	5,541,897

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	76,560	68,759
減価償却費	248,762	231,983
減損損失	-	1,278
受取利息及び受取配当金	5,390	5,843
支払利息	76,206	82,520
固定資産除売却損益(は益)	4,413	7,204
投資有価証券売却損益(は益)	226	1,480
投資有価証券評価損益(は益)	34	564
売上債権の増減額(は増加)	216,717	343,934
たな卸資産の増減額(は増加)	258,558	365,186
仕入債務の増減額(は減少)	261,479	51,670
未収入金の増減額(は増加)	6,059	296,879
その他	76,397	208,357
小計	18,327	117,983
利息及び配当金の受取額	5,486	5,888
利息の支払額	79,029	78,206
法人税等の支払額	18,202	44,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,418	1,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	71,000	35,062
有形固定資産の取得による支出	85,932	104,207
有形固定資産の売却による収入	5,047	18,284
無形固定資産の取得による支出	1,112	1,123
無形固定資産の売却による収入	36	-
投資有価証券の取得による支出	1,131	1,164
投資有価証券の売却による収入	1,148	8,104
その他	769	1,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	153,714	113,453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	941,071	149,137
長期借入れによる収入	2,300,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	1,217,216	991,327
自己株式の取得による支出	11	12
配当金の支払額	16,105	16,160
その他	6,221	6,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,373	234,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,767	3,695
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	126,527	119,265
現金及び現金同等物の期首残高	618,192	491,665
現金及び現金同等物の期末残高	491,665	610,930

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業内容により、国内で販売事業を行う「国内販売」、専ら製造事業を行う「製造」、海外で販売事業を行う「海外販売」の3つを報告セグメントとしております。

なお、報告セグメントごとの事業内容は下記のとおりであります。

報告セグメントの名称	主な事業内容
国内販売	日本国内におけるドレスシャツ、カジュアルウエア、レディースシャツの卸売、小売事業およびそれに付随する物流事業、不動産賃貸事業
製造	国内、海外におけるドレスシャツ製造事業
海外販売	海外におけるドレスシャツ、カジュアルウエアの販売事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表 計上額
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,563,421	1,187,157	96,210	14,846,789	-	14,846,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,423	2,093,098	293,959	2,398,482	2,398,482	-
計	13,574,845	3,280,256	390,170	17,245,271	2,398,482	14,846,789
セグメント利益 (は損失)	210,067	22,335	32,520	155,211	17,777	172,989
セグメント資産	12,258,390	2,024,243	155,799	14,438,433	976,368	13,462,064
セグメント負債	7,428,216	1,871,739	142,526	9,442,482	1,362,294	8,080,187
その他の項目						
減価償却費	163,208	84,796	1,369	249,374	611	248,762
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	68,514	44,038	-	112,553	-	112,553

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 前連結会計年度及び当連結会計年度とも、セグメント利益の調整額及びセグメント負債の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) 前連結会計年度におけるセグメント資産の調整額1,212,702千円には、各報告セグメントに配分されていない全社資産768,600千円及び、セグメント間取引が1,981,302千円含まれております。

全社資産は、主に親会社での余資運用（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る投資等であります。

当連結会計年度におけるセグメント資産の調整額976,368千円には、各報告セグメントに配分されていない全社資産705,128千円及び、セグメント間取引が1,681,496千円含まれております。

全社資産は、主に親会社での余資運用（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る投資等であります。

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業内容により、国内で販売事業を行う「国内販売」、専ら製造事業を行う「製造」、海外で販売事業を行う「海外販売」の3つを報告セグメントとしております。

なお、報告セグメントごとの事業内容は下記のとおりであります。

報告セグメントの名称	主な事業内容
国内販売	日本国内におけるドレスシャツ、カジュアルウェア、レディースシャツの卸売、小売事業およびそれに付随する物流事業、不動産賃貸事業
製造	国内、海外におけるドレスシャツ製造事業
海外販売	海外におけるドレスシャツ、カジュアルウェアの販売事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,157,928	908,358	140,565	16,206,852	-	16,206,852
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,843	2,091,617	194,098	2,302,560	2,302,560	-
計	15,174,772	2,999,976	334,663	18,509,412	2,302,560	16,206,852
セグメント利益（は損失）	90,827	56,680	32,829	114,678	2,202	112,475
セグメント資産	12,681,973	1,963,299	144,358	14,789,631	849,026	13,940,604
セグメント負債	7,853,151	1,789,462	132,226	9,774,840	1,376,133	8,398,706
その他の項目						
減価償却費	161,813	69,419	1,307	232,540	556	231,983
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	113,686	45,633	2,966	162,286	-	162,286

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 前連結会計年度及び当連結会計年度とも、セグメント利益の調整額及びセグメント負債の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) 前連結会計年度におけるセグメント資産の調整額976,368千円には、各報告セグメントに配分されていない全社資産705,128千円及び、セグメント間取引が1,691,496千円含まれております。

全社資産は、主に親会社での余資運用（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る投資等であります。

当連結会計年度におけるセグメント資産の調整額849,026千円には、各報告セグメントに配分されていない全社資産830,242千円及び、セグメント間取引が1,679,268千円含まれております。

全社資産は、主に親会社での余資運用（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る投資等であります。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社製品及びサービスを、シャツ製造販売事業と不動産賃貸事業とに区分した場合、シャツ製造販売事業の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

（単位：千円）

本邦	本邦以外	計
3,433,037	569,886	4,002,923

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社製品及びサービスを、シャツ製造販売事業と不動産賃貸事業とに区分した場合、シャツ製造販売事業の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

（単位：千円）

本邦	本邦以外	計
3,338,621	530,853	3,869,475

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）
該当事項ありません。

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

国内販売セグメントにおいて、減損損失1,278千円を計上しております。

長崎県において保有する土地について計上したものであります。

当該土地は元工場跡地で遊休状態にあり、時価が低下したことにより、減損損失を計上したものでありますが、当該土地は第4四半期において売却し、期末現在では保有しておりません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）
該当事項ありません。

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

該当事項ありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）
該当事項ありません。

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

該当事項ありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	
1株当たり純資産額	667.88円	1株当たり純資産額	689.35円
1株当たり当期純利益	7.92円	1株当たり当期純利益	3.88円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当連結会計年度末 (平成24年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の 合計額 (千円)	5,381,877	5,541,897
純資産の部の合計額から控除する 金額 (千円)	15,758	3,344
(うち少数株主持分)	15,758	3,344
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	5,366,119	5,538,553
普通株式の発行済株式数(千株)	8,046	8,046
普通株式の自己株式数 (千株)	11	11
1株当たり純資産額の算定に用いら れた普通株式の数(千株)	8,034	8,034

2 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
連結損益計算書上の当期純利益 (千円)	63,636	31,153
普通株式に係る当期純利益(千円)	63,636	31,153
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,034	8,034

(重要な後発事象)

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

代表取締役の変動

該当事項はありません。

その他役員の変動

・新任取締役候補

取締役 青木均(現国際販売部門長)

取締役 松本弘士(現生産部門長兼(株)ジョイモント代表取締役社長兼上海山喜服装有限公司董事長)

取締役 白崎雅郎(現物流部門長兼山喜ロジテック(株)代表取締役社長)

・昇任取締役候補

常務取締役 小林淳(現取締役管理部門長兼経営企画部長)

就任予定日

平成24年6月28日